

# なんもく 山村ぐらし通信

2013 (平成25)年11月号  
通巻第7号版 (秋季号)

発行責任者: 神戸 広  
問合せ: 南牧村役場  
企画情報課  
電話: 0274-87-2011 (代表)

紙面編集: フォトビエール  
発行元: 南牧山村ぐらし  
支援協議会

www.nanmoku.ne.jp/~sanson



## 空家情報を ご提供 ください

現在、南牧村に移住を検討している来村者の方に紹介できる空家情報が不足しています。空家所有者の方や、情報をお持ちの方からのご理解とご協力をお待ちしております。

空家の有効利用にご理解とご協力を！

【受付窓口】役場企画情報課 (〇二七四一八七二〇一一)

## ちよつとしたカフェ

岩間有希 (東京都在住)

私は、平成二十一年の「田舎で働き隊」として初めて南牧村を訪れた時から、この村の方々の温かさを感じていました。道でずいぶん本当に温かくて、道ですれ違う人、子供たちは挨拶をしてくれます。授業でランニングをしている最中も子供たちは元気に「こんにちは！」と言ってくれました。そして、空気がやわらかく、朝起きて窓を開ける度に、南牧村を好きになっていくのを感じるのでした。

八月十三日から九月二十二日まで、大日向で営業させていた「ちよつとしたカフェ」は、皆様のお陰で、富岡、高崎、前橋などからもお越しいただき、「いいところね」とゆっくりされていきました。このカフェを通じて、群馬のいい所をたくさん教えていただきました。練馬で生活し、練馬でカフェを営む私は、車の運転が苦手でした。体験民家の場所を役場の方に案内していただいた時、「まさか、こんな坂の上に家が！」



すぐさま「大丈夫かー？」と一部の始終を菊畑から見ている石井さんやほかの方々が駆けつけてくださいました。車は南牧暮らし十五時間でレッカーすることになりましたが、村の方々の駆けつけは、体験民家で一人暮らしを始めようとする私を安心させてくださいました。九月十一日には、私の夢をま

た一つ叶えることができました。ここに書ききれないくらいいたくさんの大切なエピソードがありました。本当ありがとうございます。ある九十歳のおじいちゃんが「たまたま来た人が『いい村ですね』と云うけど、いい村なんかじゃない。いい村だったら、みんな出ていかなければならない。その言葉はとても心に響くものでした。私達東京人が経済の中心を東京に集め、



【田舎で働き隊】の時に世話になりました六車花の会の石井さんと三ツ木さんにご協力いただき「カタクリの一生」のお話をいただきました。東京からいらした皆様も村の方と触れ合えたことやお話しに喜んでくださった、私は感極まる想いでした。

人も東京に集中させてしまいました。そして、水、食べ物など、日本の多くの山々からの恩恵を受けて生きています。その緑豊かな山を守って生きてくださったのは、山とかかわって暮らす方々がいてくださったからだと思えます。東京と地方を繋ぎ、交流し、知恵の交換をやっていかなければと思っていました。なんでもある時代に生まれた私達世代、たくさん溢れている東京、そこで若者は徐々に気付いていっていると思います。

なんでもある私達若者が求めるものは、『ナンニモナイ』なものかもしれません。コンビニもない多くのものに溢れすぎていない南牧村の生活は、無ければ無いで知恵を働かす、そして自然と共存して生きる事、その生活は私にとっても心地の良いものでした。皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございます。村に来た当初は、カフェをオープンさせることで頭がいっぱいで先の事が考えられなかったのですが、一ヶ月半という日々の空気、景色、音、村の方々と触れたことで、一日一日と愛着が湧いて来るのがわかりました。自分でも不思議に思っている。この文章を書いていくだけで涙が出てきてしまうくらい、私の人生を豊かにしてくれた南牧村。東京練馬に戻り、毎週休みの日に南牧村に行きたいと思わせるしてくれる思い出をくれました。

【参考】ちよつとしたカフェ <http://www.patieco.com>

## 学童クラブで南牧村へ

群馬県企画部地域政策課

過疎山振係 佐藤 淳

南八幡学童クラブ (高崎市山名町)八十九名で、八月二日、三日の二日間「なんもく村自然公園」へキャンプに行ってきました。当日は曇り空、川遊びを楽しみにしていた子ども達は、ちょっと不安顔。また直前まで雨の降る日が幾日かあったため川の増水が気になっていましたが、無事に「オアシスなんもく」裏手の南牧川で、川遊びが出来ました。

お互いに水を掛け合ったり、流れに逆らって泳いだり、ちょっと深い場所では岩の上から飛び込んだりと、普段は出来ない事に挑戦した子ども達は、とても楽しんだ様子でした。途中、小雨がパラパラときましたが、河原で弁当を食べる時には雨も上がり、南牧村全体が、子ども達を歓迎してくれている様に思えました。



川遊びの後、なんもく村自然公園でのキャンプです。キヤンプといってもビックリする

タイムマシン〜なんもく号

懐かしの校歌・月形小学校編



前身となる南牧南学校が明治七年に大日向に開設されて以来、大日向・大仁田・六車...

なりました。平成十四年には磐戸小学校とも統合され、現在の南牧小学校となります。

月形小学校校歌

- 1、空に浮かんだ三日月の姿、心にひびくあはれ...
2、望み高くそびえ立つ烏帽子の道...
3、ほととぎす啼く清らかな大気の中...
4、南牧川の水のよに...

「狭い道で大変だねえ」 私が実家のバスの運転士の仕事を手伝い始めてからお客様...

なんもくの道

雨沢ハイヤー 市川 剛

くれたり、「野菜持って行きな！」なんていう言葉をかけて貰えるのも南牧の道だからだと思...

座談会

開催してみました

南牧山村ぐらし支援協議会 九月二十七日役場二階にて、当協議会メンバー参加の座談会を開催いたしました。



今後ともご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

協議会メンバー紹介 第六弾



こう見えても私、鉄道模型の職人なんです。「増やす」って別に頭のことじゃありません！人を増やしたいんです！ 湊山さん

旧尾沢中学校でピザを焼いてかれこれ……半年経ちました？ピッツァだけじゃないんです！来ればわかります！ 小保方さん



群馬県庁三十一階にあります観光物産展示室にて「南牧村の山村生産用具展」が富岡行政県税事務所・南牧村・民俗資料館の主催で開催されました。



初日には移住相談会も開催され、期間中は砥石、こんにゃく、養蚕、林業に関する道具やパネルの展示のほか、現在の様子や移住促進活動についての紹介もされました。